

二〇二四年度 江戸川看護専門学校 入学試験問題

国語  
(第一回試験)

注意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は五十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験官の指示に従うこと。

一

①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に直し、解答欄に書きなさい。  
また、それと同じ漢字を用いる熟語を選択肢の二重傍線部から選び、  
解答欄に番号を書きなさい。

① 患者さまと大喧嘩して、病院をカイ雇された。

1 今後はこれまで以上にカイ護士の需要が高まるだろう。

2 彼女はよく自分の高校時代のことをカイ顧する。

3 彼はいつもものごとをカイ疑的な目で見ると。

4 プロ野球のカイ説者は、その選手を大絶賛した。

② 一日に必要なぶんの野菜をトるのは難しい。

1 校門の前で卒業アルバムに載せる写真をトる。

2 ダイエット中でも三食バランスのよい食事をトる。

3 病気の原因をつきとめるため、血液をトる。

4 そこに置いてあるスマートフォンをトってくださいますか。

③ 会がお開きとなり、みんな三々ゴ々帰っていった。

1 彼の書類には、言葉のゴ用が目立つ。

2 先生の家にゴ用があつて訪ねることにした。

3 なんとしても、定時のゴ時には仕事を終えます。

4 春の温かい日差しのもと、ゴ睡をたのしむ。

④ 蚊に刺されたアトがかゆい。

1 松尾芭蕉のアトをたどって東北を周遊した。

2 その有名スポットを訪れる人はアトを絶たない。

3 交通事故にあい、手術のアトが残ってしまった。

4 子猫が母猫のアトをついてまわる姿に癒される。

⑤ 試験に合格するため、勉強をソッコウする。

1 勝つために何度もソッコウをしかけ、相手に隙を与えなかった。

2 おなか痛いで、ソッコウ性のある薬を服用した。

3 植物の成長を促すため、ソッコウ性のある農薬を投入した。

4 被害を極力抑えるため、区長は災害対策をソッコウする。

二

①～⑤の傍線部の読み方を、解答欄にひらがなで書きなさい。

① 真夏の炎天下、シャツが汗を吸って湿っていた。

② エクセルを使って、家計の出納帳をつくる。

③ ただいま取り込んでおりますので、暫時お待ちください。

④ 思いがけない事態に遭遇して、呆気にとられてしまった。

⑤ 教科書を読む前に、まず凡例を確認しよう。

三

次の①～⑤の各文中には、不適切な表現があります。その箇所を修正し、解答欄に全文を書きなさい。

- ① 今日の私の仕事は、祖母を病院まで送ることが仕事です。
- ② 彼女と私は、将来の夢について話が出ることがある。
- ③ 話題の映画が封切られたので、友人に映画鑑賞を誘った。
- ④ 私は家事が得意で、キャベツを早く切られます。
- ⑤ お客様、どの色のブラウスにいたしますか。

四

次は、中世末から近世にかけてヨーロッパに存在した「動物裁判」(畑や人間に危害を加えた動物を裁判にかけ、罪を問ひ、刑に処するシステム)の発生のメカニズムを説明する文章である。よく読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

## 著作権の関係により掲載不可

(池上俊一『動物裁判 西欧中世・正義のコスモス』講談社現代新書より)

\*アニミズム：自然界のあらゆる事物に靈魂があると信じること。イギリスの民俗学者タイラーが、宗教の起源をこの語で説明した。

\*隠修士：キリスト教の求道者である修道士のなかでも、とくに神のように完全となることを求め、修行のために孤独生活を送る者のこと。

問一 傍線 a～d の意味は何か。それぞれ選択肢の中からもっとも適切なものを選び、解答欄に番号を書きなさい。

### a 具象的

- 1 実態を備えたもの、固有の形としてあるさま
- 2 わかりやすいイメージや方法であらわしているさま
- 3 複数の物に共通するものを抜き出し一般化してあるさま
- 4 形のないものを感性によってのみ認識できるさま

### b 縦横無尽

- 1 意味もなく四方八方へ移動できること
- 2 四方八方へ限りなく、自由自在であること
- 3 行動の自由が束縛された状態であること
- 4 遠慮なく勝手気ままにふるまうこと

### c リフレイン

- 1 ある言葉を繰り返さないように自制すること
- 2 ある言葉を別の表現で何度も言い換えること
- 3 ある言葉を何度も繰り返して用いること
- 4 ある言葉を比喻によって繰り返し用いること

### d メタファー

- 1 ある物事を、人間のしぐさなどにたとえて表現する方法
- 2 ある物事を、その特徴的な一部分によって表現する方法
- 3 ある物事を、それを連想させる物によって表現する方法
- 4 ある物事を、悪魔的な表現に言い換えて表現する方法

問二 傍線部Aの説明としてもっとも適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び、解答欄に番号を書きなさい。

1 自然についての観念は、伝統的なイメージを核にして少しずつ作られ、広まり、あるいは改作されるのであり、それが時代にそぐわなければ、いつでも観念は変化する余地を持っているということ。

2 自然についての観念を作るとは人間の知的作業のひとつであり、それはいつも自然に対するイメージを通してなされ、それが広まり、また改作されてゆくということ。

3 自然についての観念は、何らかのイメージを核にして作られ、広まり、改作されてゆくが、それらのことを通じて、そのイメージ自体が正しいものであるかが検証され、必要に応じて修正されるということ。

4 自然についての観念は、その時代の人々のイメージによってさまざまに作られ、広がってゆくが、時代によって自然に対する人々のイメージは変わるため、絶え間なく変化しているということ。

問三 波線部Bの理由としてもっとも適切なものを次の選択肢の中かひとつ選び、解答欄に番号を書きなさい。

1 森が中世において隠者や隠修士のあつまる場所であり、自然のイメージを語るうえでもっとも適しているから。

2 森が文明の対立項であり、ときには文明を破滅させる程の力を持つため、荒ぶる自然を理解するのにもっとも適しているから。

3 森が中世から近世にかけて妖精や幻獣のすみかであったため、自然のイメージを定義するのにもっとも適しているから。

4 森が時代の変遷にあわせて次々とイメージを変えるものであり、各時代の自然の変化を確認するうえでもっとも適しているから。

問四 太傍線Cを、文中の言葉を用いながら、50字程度で説明しなさい。

なお、解答は解答欄に、「ということ」につながるように書くこと。

ということ。

問五 点線部Dの説明としてもっとも適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び、解答欄に番号を書きなさい。

1 魔力が人間に内在しどこでも行使されるようになると、魔力の行使者自身が、悪魔や悪霊に見えてしまうようになるということ。

2 たとえ悪魔や悪霊に操られていなくても、いったん魔力を行使してしまえば、人は悪魔と同じになってしまうということ。

3 魔力は人格に内在すると考えられるようになったため、人は悪魔と同じように、都市でも魔力を使えるようになったということ。

4 魔力は人格に内在するため、森から離れた場所で魔力が行使されると、その行使者自身が悪魔なのかどうか判断できないということ。

問六 二重傍線部Eの説明としてもっとも適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び、解答欄に番号を書きなさい。

1 動物が悪魔のようになっていくのは、一二・三世紀に、法律家が動物に内在する人格や悪意を認め、その行いの責任を取らせるようになったのが原因だということ。

2 善悪は人格とその意図によって生じ、その責任も人格が負うという一二・三世紀の倫理観によって、悪事を働いた動物もその責任を負うことになったということ。

3 一二・三世紀に人々が動物にも人格を認めたことで、人間に害をなす動物は魔力を行使したと見なされ、悪魔と同一視されるようになっていったということ。

4 一二・三世紀の倫理と司法が動物にも悪意や良心があると断定したことで、動物も意図して魔力を使い人間を害する悪魔と同一視されるようになったということ。

問七 太点線部Fの説明としてもっとも適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び、解答欄に番号を書きなさい。

1 ブタは裁判に最も多くかけられた動物であり、もはや悪魔の手下ではなく、悪魔そのものとして人間に見なされたということ。

2 中世末になると、家畜であるブタでさえ、悪魔の象徴ではなく、悪意ある動物そのものとして法廷で裁かれるようになったということ。

3 中世末には、ブタは魔性のものとして象徴的に断罪されるのではなく、実際に処刑されるようになっていったということ。

4 動物裁判でとくに脚光を浴びたブタも、その他の動物と同様、悪魔的存在として処刑されるようになっていったということ。

問八 次の選択肢のうち、本文の内容と合致するものには○を、合致しないものには×を、それぞれの解答欄に書きなさい。

1 一二世紀以降の文学における自然は、神や精霊、幻獣のすみかであり、隠者・隠修士が修行のために籠る場所としてのみ登場する。

2 著者は、魔力と聖なる力とは表裏一体の関係にあると考えている。

3 『ユオン・ド・ボルドー』に象徴的なように、一三世紀の森からは、魔力や聖なる力はほとんど消滅した。

4 魔女が動物と結合するのは、魔女が動物たちのすみかである森に住む「尋常ならざる人種」だったからである。

5 動物裁判の背景には、一二・一三世紀以降の森のイメージの変質と、善悪の責任は人格にあるとする哲学・神学の新しい論調がある。

四								三					二		一		
問八	問七	問六	問五	問四		問三	問二	問一	⑤	④	③	②	①	④	①	④	①
1								a								漢字	漢字
2								b								番号	番号
3								c						⑤	②	漢字	漢字
4								d								番号	番号
5														③		漢字	漢字
																番号	番号

受験番号

二〇二四年度江戸川看護専門学校 入学試験 解答用紙

国語 (第一回試験)

氏名

得点